

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	10人			12人

前回の改善計画

- 支援の開始前、そして開始時においては、職種に関わらず状態の確認やコミュニケーションを行う機会を設けて、職員みんなで利用者様やご家族様の不安な気持ちの軽減に努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 花海家長寿園に初めて来ていただいた際の不安な気持ちを理解して、意識的に安心できる声掛けを行うなどコミュニケーションを多く行うといった対応が実践できている。
- 実際には、花海家長寿園における関わりの期間が1か月弱となった利用者様がいらっしゃったが、ご本人様やご家族様からは感謝の言葉が頂戴できた（看取り時期の支援開始、ご自宅でご逝去となられた方の事例である）。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1人	9人	2人		12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1人	10人	1人		12人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2人	9人	1人		12人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3人	8人	1人		12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 職員同士の意見交換や各資料などを参考として、利用者様お一人おひとりの状態に応じた支援の導入が行えている（できている）。
- 新規ご利用としてお迎え入れさせていただく際には、その利用者様について関わりを多く行うことで安心して過ごすことができる環境作りを実践できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 専門職については、必ずしも情報の共有の中で必要と考える情報が得られていないと感じていて、情報の共有の仕組み作りが確立されていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 何よりご本人様の「語り」を大切にしたい関わりを実践することを意識づける。ご本人様に質問して考えを伺い、必要であれば各所連携や職員間の情報共有を図ることとする。また、このことはコミュニケーション場面の創出であるから、笑顔でのコミュニケーションを実践する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	5人		12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信や情報共有の手法には工夫を行い、利用者様やご家族様の安心感や快適さに繋がるような関わり方の質を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様に寄り添う関わりを常に意識して、実践にあたる事ができている。 利用者様のサービスご利用状況においては、ご本人様の考えよりもご家族様の意向が優先されてしまいがちであると感じていて、もどかしい気持ちを抱えることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3人	8人	1人	12人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1人	3人	7人	1人	12人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人	2人	8人	1人	12人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1人	3人	7人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所の理念において「あなたらしく…、いつまでも住み慣れた地域や家で生活できるように…」と掲げることで、ご本人様の生活に寄り添った関わりが実践できている。 感染症の流行時期を乗り越えて、一旦は止まってしまったレクリエーション活動や屋外活動への取り組みについて再開、発展を目指しての活動を介護職リーダーが中心となって進めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの利用者様には、十分な時間を作って向き合うことができていない（と感じている）。 目標設定について、明確に表現することが難しいと感じることがある（目標の設定が適切に行えていない）。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 個別援助評価などを通して、各職員が利用者様ごとの生活における意向や花海家長寿園として関わらせていただく際に目標として掲げている内容について理解を深めて、PDCAサイクルに職員皆で取り組む体制を構築していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

3. 日常生活の支援

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	5人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご本人様の、自宅や地域での暮らしの質を高めていくため、地域資源の開発や活用について学ぶ機会を設けて実際の支援の中で生かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の今までの暮らし方や本当の思いに考察を深めていくことには難しさを感じている。一方では、IT機器の活用によってご本人様であっても表出しにくい睡眠の習慣などを知り得る新たな可能性を見出すことができるから、日ごろからの利用者様との関わりの質を高めることについて繋がり、また、ご自宅で介護にあられる際のご家族様への助言などにも効果的と感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1人	1人	9人	1人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3人	8人	1人		12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5人	6人	1人	12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2人	9人	1人		12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1人	7人	4人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングなどで情報の収集を自分なりに行うことができている。 眠りコネクトなどの機器も活用して、例えば「ご本人様の睡眠の状態に応じた排泄介助」を行うことができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人様の気持ちの変化に気が付くことができなかつたと反省することがあった（できていなかった）。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 「以前の暮らし方」を10個知るということにおいては、10人の職員がそれぞれにご本人様やご家族様から聞いたお話などを共有することで実現できるから、日ごろからの職員間における意見交換や情報共有の手法を確立していく（LINEWORKSの活用など）。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永 松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸 東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	3人	4人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様と一緒に地域行事や、あるいはいろいろな催しものへお出掛けする機会を作る。その中で、利用者様の役割や存在について、職員自身が理解を深めることとする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 鶴羽町内会における清掃活動への参加や、公民館行事に利用者様と一緒に赴くなど実践できて、職員自身も楽しみとして感じている。 地域やご家族様との関係性についてうかがい知れない利用者様においては、ご本人様の生活における事業所の関わらない時間帯の過ごし方についてなど知ることが不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2人	5人	4人	1人	12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2人	7人	1人	2人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2人		9人	1人	12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1人	1人	8人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人様の生活のスタイルを維持するため、訪問支援の回数を増やすなどして対応を行うことができている。 地域の行事に参加して、利用者様が住まう地域ではどのような催しがあつて、どのようなひとたちが生活されているかということを知ることができている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者様ご本人様が、実際に現在の生活の中でどのような希望を持っていらっしゃるものか把握することができていない。また、現在に至る生活のスタイルや人間関係など、限られた情報しか得られない場合があり、関わりにおいて十分に配慮することができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の皆様とともに形つくることを意識して、地域における花海家長寿園の「付加価値を高める」ための取り組みを実践する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永 松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸 東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	1人	7人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の社会資源についての学習の場を作り、職員の視野を広げる。 「家族介護力」や「地域介護力」の向上のための働き掛けを、1つ以上形にして実行する。（前回改善計画を継続する。）
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様ご本人様やご家族様の思いに沿い、最期の時を迎えるまで花海家長寿園として関わらせていただく実践を数名様経験できるが、その際には、在宅診療医や訪問看護サービス、あるいは地域の方やご家族様ご親族様との連携は不可欠であって、実践例として経験重ねることは、事業所としての成長に繋がるものと感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人	2人	7人	1人	12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		9人	3人		12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1人	8人	3人		12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1人	10人	1人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> その日その時のご本人様の状態に応じて柔軟な支援を行うことができている。 利用者様の状態や状況を知るという点においては、バイタルサインの確認を実施のみならず、利用者様に寄り添い、触れ合うことで気づき、感じ取ることができるということを理解して実際のケアの場面で実践することができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングでの情報の共有が不十分であった（できていない）。 地域の社会資源について、自分は理解を深めることができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ご本人様が安心感や安住感を持ってご自宅でのくらの継続が叶うように、「家族介護力」や「地域介護力」の向上のための働き掛けを、1つ以上形にして実行する。例えば、ご家族様を対象とする認知症サポーター養成講座などの開催を企画する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）
6. 連携・協働	メンバー	古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永 松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸 東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	1人	8人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花海家長寿園が地域において果たすべき役割について、今一度職員みんなで考える機会を作り、そのことを目標として意識統一して日々取り組むこととする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症流行時期から続く、事業所において、あるいは地域の皆様において必要以上に「遠慮してしまう」風潮は払拭できず、花海家長寿園を積極的に訪れてくださる地域の方はいない。 ・ 地域の皆様とともに活動や地域行事に参加した経験のある職員が、関わらせていただく地域資源の貴重さややさしさに触れることができ、その経験が事業所全体に広がっていくには道半ばである。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	3人	6人	2人	12人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2人	3人	7人	12人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4人	3人	5人	12人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	2人	9人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間6回の運営推進会議を開催して地域の方たちと意見交換を行うことができている。また、サービス担当者会議の場面などに地域の住民の方などが参加する機会を設けることができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部職員を除いて（主に管理者以外は）地域での行事や地域での会議等には参加できていない。 ・ 感染症の流行時期や感染警戒時期を過ぎたとしても、以前のように気軽にかつ前向きな気持ちで地域の皆様に花海家長寿園へ足を運んでいただくといった環境の再構築が実現できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターなどから紹介いただく地域支援などの研修機会、あるいは定期的で開催する運営推進会議や地域で行われる行事などに様々な職員が参加することで、地域とともにある花海家長寿園を実感できるように体制を整えていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

7. 運営

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		3人	6人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 能動的に考えて実行することを実現し、また、その際には、利用者様個人、事業所全体、さらには地域の皆様や地域資源に目を向けて提案や企画、意見交換ができるように、学ぶ機会と学んだことを形にする機会を創出する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、利用者様と一緒に地域における防災避難訓練に参加した際には、当該利用者様以外の同じ町内会に住まう利用者様母娘とお会いすることができたし、あるいは、民生委員様からはお声掛けいただき、ご本人様とはたいへんに仲良くされていたのだとお話しを聞かせていただき新たな発見があったとともに、花海家長寿園としての新たな可能性を感じる事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		4人	7人	1人	12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	6人	5人		12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	4人	6人	1人	12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2人		9人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所が果たすべき役割や機能について理解して、地域において新たな社会資源の開発に取り組むなどが実践できている（町内会長様との関係性作りや、あるいは利用者様と旧友の方との再会の場面創出への支援など実施できた）。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが、自分の思いを述べる時間、機会を得ているとは言い難い（できていない）。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員会議や個別ケア会議においては、各職員が感じていること、思っていること、取り組んでみたいことを皆に伝えることができるような仕組み作りを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画	・技能実習生職員を含む全職員が各分野の研修に参加できるように、学びたいことの把握、あるいは学ぶべきことの自己覚知の仕組みを作り、そのことに沿った研修計画作成とその実践を進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・法人として教育システムを確立して（新規入職職員向けの動画研修、学研メディカルサポートを活用した月ごとの研修）、職員の質向上のための取組みを行っている。 ・

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	7人	1人	2人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	2人	4人	3人	12人
③	地域連絡会に参加していますか	1人		4人	7人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	7人	3人	1人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・事業所内での研修や振り返りに参加している。次に生かせる取り組みができている。 ・職員それぞれが、キャリアアップのための研修に取り組むことができている。 ・リスク（危険性）を意識した利用者様支援を行うことができている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・勉強会や研修で各々が学んできたことを周知、発表する機会を作ることができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・職員階層ごとの研修計画を作成してそのことに沿う研修機会を設けていくとともに、地域における活動や連絡会への参加、あるいはリスクマネジメントのための取組みなどを通して職員個々人が成長して質を高めることができる体制を構築する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ミーティング及び書面提出（令和8年1月14日）

9. 人権・プライバシー

メンバー 古川和憲・谷山正子・日比野八重子・鳥淵大永
松元忠夫・芝原弘子・平山さわ枝・久木田千幸
東美智子・柿内優希・上船澄子・駿河美和

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	3人	5人	1人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">権利擁護についての勉強会を定期的で開催し、また、法人内他事業所との連携にて開催する勉強会や鹿屋市内外各機関が主催する研修に積極的に参加して、意識の向上を図っていく。今後にも、終末期の支援や成年後見制度、あるいは個人情報保護についての研修を受講し、知識を深めて意識を高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">虐待防止については担当職員を定めて、1か月に1回以上の虐待防止委員会や身体的拘束廃止委員会を開催している。利用者様特性として、成年後見制度の活用が検討される事案はなく、しかし、その制度について学ぶ機会など設けることができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	8人	4人			12人
②	虐待は行われていない	9人	3人			12人
③	プライバシーが守られている	4人	8人			12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	2人	5人	4人	12人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5人	7人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">身体拘束ゼロ、虐待の防止には、全職員が意識高く持ち取り組みを行うことができています。個人情報の取り扱いなどには特に注意して取り組むことができています。また、利用者様とのコミュニケーション場面ではスピーチロックとならないように配慮することができています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">生活保護や成年後見制度を利活用される利用者様が不在であるから、制度等に触れる機会が作れなかった（実践での学びができていない）。プライバシー保護など、十分ではないと感じることがある（できていない）。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">権利擁護についての勉強会や虐待防止委員会及び身体的拘束廃止委員会を定期的で開催して、継続して知識と意識の向上を図る。成年後見制度についての研修を受講するなど、常時の受け入れ態勢を整えておく。

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	7 人		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5 人		2 人
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	6 人		1 人
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6 人		1 人

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・認知症相談窓口『オレンジの窓』としての役割を、あらためて地域の皆様へお伝えして、『顔の見える関係性づくり』を実現することで、地域の方たちが『もっと気軽に足を運べる場所＝花海家長寿園』を目指す。	4 人		3 人
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3 人		4 人
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4 人		3 人
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6 人		1 人
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5 人		2 人

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <hr/> <p>【前回の改善計画】</p> <p>・花🌸華オレンジドライブをきっかけとした地域行事への参加や、地域課題に対する取り組みを形にする。例えば地域に住まうおひとり暮らしの方を訪ねてお話を聞き、事業所の地域における現在の評価や、今後求められる役割を考える機会とする。</p>	5人		2人
1	職員はあいさつできていますか？	7人		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6人		1人
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4人		3人
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4人	2人	1人

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <hr/> <p>【前回の改善計画】</p> <p>・令和7年度においても、地域における認知症や認知症の方への理解を深めるための学びの機会を作る。また、その前提条件として、地域行事や会合などにも参加させていただき「いろいろなことが言い合える」関係性づくりを実践する。</p>	6人		1人
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1人	3人	3人
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5人		2人
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4人	1人	2人
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3人		4人

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・地域における課題と解決策、あるいは地域であった“いい話”など共有できるにして、ともに地域で生きる仲間としての事業所の存在価値を高めていく。	5人		2人
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6人		1人
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2人	1人	4人
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5人		2人
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4人		3人

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・地域の住民の方や消防団の方にも事業所の防災避難訓練や、あるいは防災教育の機会に参加していただき、非常時に連携できる体制の構築を図っていく。	4人		3人
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3人	1人	3人
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5人		2人
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2人	5人	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4人		3人

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7人		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5人		2人
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	6人		1人
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6人		1人

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・「いろいろなことが書いてありますけれど、難しいですね。」
- ・「まだ委員（運営会議の委員）になったばかりなもので、わからないところも多かったものですから…。」

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・「まだね、コロナ（新型コロナウイルス感染症）があつたり、インフルエンザが多かつたりして、開放すべきかどうか…難しいですよ。」
- ・「技能実習生の方も言葉は上手ですものね。」

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・「そば打ちと餅つきの時も（花海家長寿園の職員が）来てくれてね、助かりましたよ。町内会は若い人がだいぶ減ってしまいましたからね。」
- ・「町内会もね、役を引き受けてくれるひとが見つけられなかつたりしてね、いろいろお互いがんばりましょう。」

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・「職員の方がたくさんいらっしゃるのですね。」
- ・「良い意見だけでなく、良くない意見も記載されてですね、良くないところは今後どうしていくかということも書いていらっしゃるの…。」

【改善計画】※後日記入

- ・町内会や地域の皆様とともにある花海家長寿園として、地域に住まう「ちょっとだけ心配だけれど、なんて声を掛けて良いかわからない…」といった方について地域の方や花海家長寿園の利用者様と一緒におうちを伺うなどして話したりして、安心して暮らし続けることができる地域を形作っていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4人		3人
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3人		4人
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4人		3人
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6人		1人
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5人		2人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「眺めが良くていいところですね。」
- ・「(運営会議の委員に着任いただいて) まだ日が短いもので、すみません、なかなかわからないことが多くて…。」

【前回の改善計画】

- ・認知症相談窓口『オレンジの窓』としての役割を、あらためて地域の皆様へお伝えして、『顔の見える関係性づくり』を実現することで、地域の方たちが『もっと気軽に足を運べる場所＝花海家長寿園』を目指す。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・花海家長寿園とプライエボーリ優花里の室内環境をご覧になっていただき、また、町内会の方など、利用者様入居者様として久しぶりに再会される機会となって「お元気そうで良かったです。雰囲気も明るいし、綺麗にされていますね。」

【今回の改善計画】※後日記入

- ・認知症相談窓口『オレンジの窓』としての役割を、あらためて地域の皆様へお伝えして、『顔の見える関係性づくり』を実現することで、地域の方たちが『もっと気軽に足を運べる場所＝花海家長寿園』を目指す。(次年度も継続。)

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5人		2人
1	職員はあいさつできていますか？	7人		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6人		1人
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4人		3人
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4人	2人	1人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・（職員の年末行事：餅つきそば打ちへの参加について…。）
「うん。彼（職員）は頑張っていたよ。地域には若い人が少ないから、彼みたいな若い力が来てくれるのは助かります。」

【前回の改善計画】

- ・花🌸華オレンジドライブをきっかけとした地域行事への参加や、地域課題に対する取り組みを形にする。例えば地域に住まうおひとり暮らしの方を訪ねてお話を聞き、事業所の地域における現在の評価や、今後に求められる役割を考える機会とする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・「自分の家のそばにもねえ、心配なひとがいてね、それで一緒に花海家さんへ行かないか…て声を掛けてみようかと思っていたんだけど、この前、病院へ入院しちゃってねえ、うちに帰って来れたら良いのだけれど…。」

【改善計画】※後日記入

- ・鶴羽町内会や花岡町内会で開催される季節ごとの行事や、あるいは普段から開講している体操教室や出前講座など、多くの職員が参加させていただき、「顔が見える関係性づくり」に取り組む。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6人		1人
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1人	3人	3人
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5人		2人
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4人	1人	2人
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3人		4人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「どのような方たちがご利用されているのか、都つとまだわからないところがありますものですから…。」
- ・「ああ、(利用者様と一緒に) 地域の行事にも行かれたりもされるのですね。」

【前回の改善計画】

- ・令和7年度においても、地域における認知症や認知症の方への理解を深めるための学びの機会を作る。また、その前提条件として、地域行事や会合などにも参加させていただき「いろいろなことが言い合える」関係性づくりを実践する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・「なかなかですね、(利用者様と) 一緒に住んでいる家族のひとも、一緒に出掛けるなんて難しかったりもするでしょうからね。歳を重ねて、足腰が弱くなるとですね。」
- ・「花海家さんで送り迎えしてくれたらね。送ってもらえるだけでも良いですよ。(地域行事から) また、こちらからお送りするか、『終わりましたよ。』と連絡しますからね。」

【改善計画】※後日記入

- ・活動的な利用者様においては一緒に外出や地域の行事への参加を企画していただき、そして外出や参加の実際の際には、多くの利用者様と一緒に出掛けることができるような環境や運営を目指していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5人		2人
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6人		1人
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2人	1人	4人
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5人		2人
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4人		3人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「何日分かの新聞がね、とってないいいないひとがいたんだって。お弁当もそのまま。それでね、一緒にお弁当屋さんと家の中に入ったらね、倒れてた。入院になったよ。」
- ・「ドライブ（オレンジ花🌸華ドライブ）のことに楽しみにしていられっしやるひとがいますからね。久しぶりに誰だれと会える…みたいだね。」

【前回の改善計画】

- ・地域における課題と解決策、あるいは地域であった“いい話”など共有できるようにして、ともに地域で生きる仲間としての事業所の存在価値を高めていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・「相談して良いのでしたら相談してみれば良かったですね。でもね、そういうところには行かないよ（花海家長寿園のような事業所には行かない）という人も多いからね。」

【改善計画】※後日記入

- ・地域に住まう「ちょっとだけ心配なひと」のお話を聞かせていただくことがあった際には、地域の方や利用者様と一緒に、その方のおうちを尋ねてお話を聞いてみるなど実践する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4人		3人
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3人	1人	3人
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5人		2人
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2人	5人	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4人		3人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「ここは土砂災害はないかも知れないけれど、停電がありますからね。」
「今はね、停電中にならないように電線をいろいろ工事したりしているみたいだけれど、風がまともに当たるからね、ここはね。」
- ・「まだ、（運営会議の委員に）なって間もないので訓練に参加させてもらったことがないので、いつか参加させてください。」

【前回の改善計画】

- ・地域の住民の方や消防団の方にも事業所の防災避難訓練や、あるいは防災教育の機会に参加していただき、非常時に連携できる体制の構築を図っていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・「地域で避難訓練を開催しようにもね、みんな歳を重ねて…なかなか難しくなってきましたね。」
- ・「(事業継続計画：BCPについては) 難しいですけど、前にあった…そう、日向灘の地震の時みたいなことが、いつかまたありますからね。」

【改善計画】※後日記入

- ・花海家長寿園の職員が地域の防災訓練に参加して、また、地域の方には事業所の防災訓練や防災教育の場面に参加していただくことで『災害に強い事業所、災害に強い地域』をともに作っていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人恵仁会	代表者	理事長 池田志保子	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市花岡町に居を構える花海家長寿園においては、利用者様との柔軟な関わり方、地域特性を生かした事業所づくりが特徴です。例えば、地域の公民館で開催される催し物と一緒に赴いて参加させていただいたり、そのような場面では、利用者様の普段からの地域の皆様との関わりについてのお話しや、あるいは、地域に住まう”ちょっとだけ心配が強くなってきたひと”のお話しなどを聞かせていただくことがあります。 ・これからも「地域とともにある花海家長寿園」を目指して、日々取り組んで参りたいと思います。
事業所名	小規模多機能ホーム 花海家長寿園	管理者	古川和憲		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	1人	1人	人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員が、事業所の中だけにとどまらない取り組みや地域の皆様との関わりについて、その重要性を学ぶことができる機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴羽町内会、花岡町内会、そしてそれよりも広域な鹿屋市を横断するような形で、各職員が様々な催し物などに利用者様と一緒に参加する機会があったが（例えば肝属中央市場での競り市の見学などである）、未だ十分ではないと感じるところが実際であり、今後の取り組みについてさらに検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「そば打ちと餅つきの時も（花海家長寿園の職員が）来てくれてね、助かりましたよ。町内会は若い人がだいぶ減ってしまいましたからね。」 ・「町内会もね、役を引き受けてくれるひとが見つけられなかったりしてね、いろいろお互いががんばりましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や地域の皆様とともにある花海家長寿園として、地域に住まう「ちょっとだけ心配だけれど、なんて声を掛けて良いかわからない…」といった方について地域の方や花海家長寿園の利用者様と一緒におうちを伺うなどして話したりして、安心して暮らし続けることができる地域を形作っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談窓口『オレンジの窓』としての役割を、あらためて地域の皆様へお伝えして、『顔の見える関係性づくり』を実現することで、地域の方たちが『もっと気軽に足を運べる場所＝花海家長寿園』を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議の委員の皆様には、会議後に花海家長寿園やプライエボーリ優花里の見学を行っているただく機会を作り、その時間は町内会の仲間としての利用者様入居者様にとっても、久しぶりの再会が果たされた良い機会であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花海家長寿園とプライエボーリ優花里の室内環境をご覧になっていただき、また、町内会の方など、利用者様入居者様として久しぶりに再会される機会となって「お元気そうで良かったです。雰囲気も明るいし、綺麗にされていますね。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談窓口『オレンジの窓』としての役割を、あらためて地域の皆様へお伝えして、『顔の見える関係性づくり』を実現することで、地域の方たちが『もっと気軽に足を運べる場所＝花海家長寿園』を目指す。（次年度も継続。）

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・花🌸華オレンジドライブをきっかけとした地域行事への参加や、地域課題に対する取り組みを形にする。例えば地域に住まうおひとり暮らしの方を訪ねてお話を聞き、事業所の地域における現在の評価や、今後求められる役割を考える機会とする。</p>	<p>・オレンジ花🌸華ドライブについては、お買い物ものに限定しない、例えば名所散策の機会とするなど工夫した取り組みが実践できている。地域の皆様の声を今後の運営の改善に繋げるべく、日々取り組みの質の向上を目指すところである。</p>	<p>・「自分の家のそばにもねえ、心配なひとがいてね、それで一緒に花海家さんへ行かないか…て声を掛けてみようかと思っていたんだけど、この前、病院へ入院しちゃってねえ、うちに帰って来れたら良いのだけれど…」</p>	<p>・鶴羽町内会や花岡町内会で開催される季節ごとの行事や、あるいは普段から開講している体操教室や出前講座など、多くの職員が参加させていただき、「顔が見える関係性づくり」に取り組む。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・令和7年度においても、地域における認知症や認知症の方への理解を深めるための学びの機会を作る。また、その前提条件として、地域行事や会合などにも参加させていただき「いろいろなことが言い合える」関係性づくりを実践する。</p>	<p>・例えばお月見行事では朝の段取りから町内会の皆様と行動をとることで夕方まで過ごすことができたし、また、餅つきそば打ちにおいては「若い力が来てくれて良かった。」と言ってもらえるなど、地域の皆様とともに取り組むことができたし、参加した職員の目線からは、たいへんに良い経験ができたと感じるところであった。</p>	<p>・「なかなかですね、(利用者様と一緒に住んでいる家族のひと、一緒に出掛けるなんて難しかったりもするでしょうからね。歳を重ねて、足腰が弱くなるとですね。」 ・「花海家さんで送り迎えしてくれたりね。送ってもらえるだけでも良いですよ。(地域行事から) また、こちらからお送りするか、『終わりましたよ。』と連絡しますからね。」</p>	<p>・活動的な利用者様においては一緒に外出や地域の行事への参加を企画していただき、そして外出や参加の実際の際には、多くの利用者様と一緒に出掛けることができるような環境や運営を目指していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・地域における課題と解決策、あるいは地域であった“いい話”など共有できるようにして、ともに地域で生きる仲間としての事業所の存在価値を高めていく。</p>	<p>・花海家長寿園においては今年度自治水道の使用の実情において課題が生じることがあったが、運営会議の委員含めた地域の皆様のお力添えがあり、無事に解決することができたし、また、解決に至るまでの過程においては新たな出会いや取組のきっかけを見出すことができた。</p>	<p>・地域に住まう「ちょっとだけ心配なひと」のお話を聞かせていただくことがあった際には、地域の方や利用者様と一緒に、その方のおうちを尋ねてお話しを聞いてみるなど実践する。</p>	<p>・地域に住まう「ちょっとだけ心配なひと」のお話を聞かせていただくことがあった際には、地域の方や利用者様と一緒に、その方のおうちを尋ねてお話しを聞いてみるなど実践する。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・地域の住民の方や消防団の方にも事業所の防災避難訓練や、あるいは防災教育の機会に参加していただき、非常時に連携できる体制の構築を図っていく。</p>	<p>・消火器訓練など地域の皆様を交えた取り組みは実施できなかった。 ・防災についての考え方や実際の取り組みにおいては、日ごろから地域の皆様と意見交換を行うことができている（地域行事や町内会の役員会など）。</p>	<p>・「地域で避難訓練を開催しようにもね、みんな歳を重ねて…なかなか難しくなってきましたね。」 ・「(事業継続計画：BCP については) 難しいですけど、前にあった…そう、日向灘の地震の時みたいなことが、いつかまたありますからね。」</p>	<p>・花海家長寿園の職員が地域の防災訓練に参加して、また、地域の方には事業所の防災訓練や防災教育の場面に参加していただくことで『災害に強い事業所、災害に強い地域』をともに作っていく。</p>
----------------------------	---	---	---	--